

課題

島固有の資源を必ずしも効果的に活用できていない

国境離島への関心が高まっているが、実際に国境の島を訪れ体感することは稀

東京オリンピック・パラリンピックを契機に増加する訪日外国人を離島へ呼び寄せることが課題

目指す姿

滞在交流型観光（島たび・島めぐり）を通じた島の活性化

島の資源をフル活用し「島たび・島めぐり」を展開。島内に広く経済波及効果をもたらすための「観光地域づくり」を推進

島での取組

「島たび・島めぐり」の展開による「島業(*)」の確立

- 島の資源を活かした特色のある「観光地域づくり」を推進
- 島のコンセプトを明確化し、取組体制の構築等の戦略を立て、島全体で稼ぐ仕組みとして「島業」を確立
- 島内関係者の連携・融合を図り合意形成と一体的な取組が必要

「島たび・島めぐりコンシェルジュ」による一元的対応

- 各種情報を把握し、ニーズに応じて案内等を行うワンストップサービス窓口として、「島たび・島めぐりコンシェルジュ」を設置
- 「コンシェルジュ」をサポートする体制を整える事が必要

(*) 農林水産資源をはじめ、島独自の自然、歴史、伝統文化、産業、生活様式などの多様な資源を活用して展開する生産からサービス提供までの一連の経済活動をいう。「海業(うみぎょう)」がその典型的な一形態である。(海業の具体的な事例：漁業者が漁業と飲食や観光サービスとの連携・融合を図りながら、民宿・魚食レストラン・遊漁・ダイビングショップの経営や体験ツアーなどを行うもの)

取組の流れ

「島たび・島めぐり」の展開による「島業」の戦略づくり

島での回遊を促すプログラムづくり

宿泊施設やガイドの魅力向上

情報発信

景観、歴史的遺産、自然環境の保全・管理

定期的な評価

島での取組を後押しするための取組

発信力の強化と知恵の共有化のためのプラットフォームの構築

- 離島全体のイメージアップ、魅力の発信強化
- 外国人を含む旅行者向け情報の充実
- 行政などの関係者間の情報共有の強化

イノベーションを誘発する島外との交流機会の充実

- 離島と企業との交流強化(しまっちゃんぐ等)
- 離島と他地域との交流強化(アイランダー等)
- 島に向かう新しい人の流れをつくる取組の強化(島風構想)

離島での暮らしの充実に向けた取組事例

教育

- 離島留学・渡船通学の実施
- 地域学の実施
- 公営塾・学習支援センター・ICTの活用による学外教育の充実

医療

- 遠隔医療システムの活用
- 巡回診療ヘリ、巡回診療船の活用